



ネスレのPurpose(存在意義) - CSV(共通価値の創造)の実践

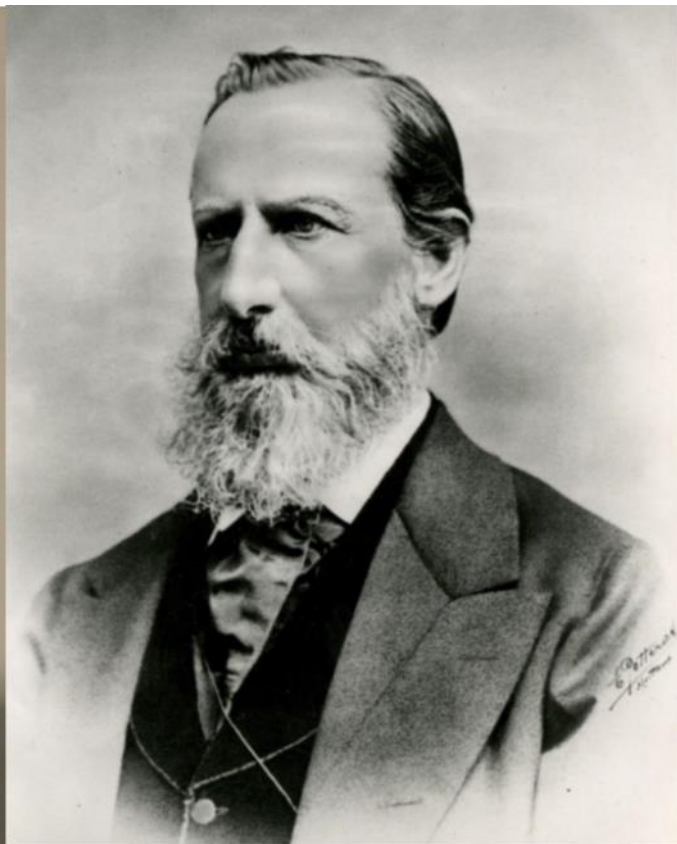
ネスレ日本
コーポレートアフェアーズ統括部
コーポレートコミュニケーション室

阿部 純一

ネスレ企業ロゴ



問題解決: 乳幼児用乳製品の開発(1867年)



創業者:アンリ:ネスレ



社会問題: インドのミルク生産農家の貧困



1962年: インド北部パンジャブ州モガに乳製品工場設立許可

■工場進出地域の厳しい現状

- 貧困地帯: 電気、水道、交通手段、電話、医療機関なし
- 農家にメスの水牛1頭、自家用ミルクのみ
- 冷蔵施設、輸送、品質測定手段なし

問題解決: モガ酪農開発プロジェクト



■技術支援

- 獣医、栄養士、農地管理士、品質管理専門家による指導
- 飼料作物の育成支援、灌漑の技術支援
- 農民に対する毎月の研修

■資金・物的支援

- 冷蔵設備のあるミルク集荷所設置
- 病気の家畜に医薬品と栄養剤を提供
- インフラ、教育、安全な飲料水への投資

生活水準が向上したモガ工場周辺地区



■工場進出後のモガ地区の変貌

- ミルク供給農家数:180→75,000
- 子牛死亡率:60%→15%
- ミルク生産量:50倍
- 周辺地区より高い生活水準
- 90%の家庭に電気、電話普及
- 小学校、中学、高校の整備、医師の数は周辺地区の5倍

→**農家の価値**:生活水準の向上

→**地域社会の価値**:経済の成長

→**ネスレの価値**:良質なミルクの安定確保

ブラジル、タイ、中国など10数カ国で同様のアプローチ



ネスレの共通価値の創造(CSV)

ネスレは、**株主の皆さま**と**社会全体のために価値を創造**することが、
企業としての長期的な成功につながると考えています。
共通価値の創造(CSV)と呼ばれるこのアプローチが、ネスレの事業活動そのものです。

本業を通じて社会問題を解決すること



Paul Bulcke

Paul Bulcke
Chairman

Mark Schneider

Mark Schneider
Chief Executive Officer



Peter Brabeck-Letmathe

ネスレのPurpose（存在意義）

Nestlé. Enhancing quality of life and contributing to a healthier future
ネスレは、生活の質を高め、さらに健康な未来づくりに貢献します

個人と家族のために
さらに健康で幸せな生活を
実現します

**For individuals
and families**

Enabling healthier
and happier lives



5,000万人

5,000万人の子供たちが
さらに健康な生活を送れるように
するための支援

Help 50 million children
live healthier lives

コミュニティのために
困難に負けない活力ある
コミュニティを育成します

**For our
communities**

Helping develop
thriving,
resilient
communities



3,000万人

ネスレの事業活動に直結する
コミュニティに暮らす3,000万人の
生活向上の支援

Help to improve 30 million
livelihoods in communities
directly connected to our
business activities

地球のために
未来の世代のために資源を
守ります

For the planet

Stewarding resources
for future
generations



ゼロ

ネスレの事業活動における
環境負荷ゼロを目指すための
取り組み

Strive for Zero environmental
impact in our operations

Enhancing quality of life and contributing to a healthier future
生活の質を高め、さらに健康な未来づくりに貢献します

ネスレのパーパス

3つの社会領域

2030年までの長期目標

社会問題の特定 中期コミットメント

CSVを通じて問題解決に取り組む

SDGsの達成に貢献

個人と家族のために さらに健康で幸せな生活を 実現します 	コミュニティのために 	地球のために 
2030年に向けた長期的な目標: 5,000万人の子供たちが さらに健康な生活を送れるよう支援します	2030年に向けた長期的な目標: ネスレの事業活動に直接する コミュニティに暮らし3,000万人の生活向上	2030年に向けた長期的な目標: ネスレの事業活動における 環境負荷ゼロを目指す取り組み
 さらに新しいと健康的な 食生活とライフスタイルを実現する  さらに健康的な生活を 実現する  栄養健康を 高め、成長、応用する ※① 特に花崗岩と土壌 汚染の多い地域で生活する 女性と児童の子どもの ため、栄養および食品飲料 製品の開発を加速する ※② ネスレ食品のボーン イン(食料)パッケージを開 発する ※③ 健康を促進する国 産、パーソナルニュートリ ション(個別化)した栄養、 デジタルヘルスソリューション につながる食品飲料を開 発する ※④ ネスレの製品材料 リストを公開し、有害化学 物を取り除く ※⑤ 資源管理の強化 を通じて、低炭素の環境に 対応し ※⑥ 近親食品の公正 な取引に関する専門知識 レベルの向上を積極的に進 行することにより、母親を 支援する ※⑦ さらに健康的な食 生活のために水を飲料として 提供する ※⑧ 健康の改善を促 すための能力開発を 行う	 農村地域と都市での 生活向上を目指す  人権を尊重し推進する  公正な雇用と多様性を 推進する ※① ネスレのサプライ ヤーである農家は事業の延 び縮減に影響する ※② ネスレのサプライ ヤーである農家は事業の食 料の入手可能性と食料の多 様性を促進する ※③ サプライチェーン における買値をめぐる競争を 増加、動物福祉を推進する ※④ ネスレのコービー と買値サプライチェーンの解 決策に貢献する ※⑤ カカオ農家ととも にFALSI カカオブランドを 開発する ※⑥ 事業全体において 人権への影響を評価し 対応する ※⑦ 事業全体において Newly Needs YOUNG イ ニシアゲを奨励する ※⑧ ネスレの農業サプ ライチェーンにおいて労働 者の生活を改善し、子ども を支援する ※⑨ 組織全体で健康な 食生活を推進する ※⑩ 社員とスタッフホ ルダーに買値性のある持続 可能な仕組を推進する	 未来食品に注力  気候変動に対応する  資源を守る ※① 事業全体における 水の持続可能なサステナ ビリティの向上に取り組 む ※② 事業全体における 水の持続可能なサステナ ビリティの向上に取り組 む ※③ サプライヤー、特に 農産物生産者と協力する ※④ 水の保全活動を開 発、サプライヤー全体で のよき循環を推進するア プローチを改善する ※⑤ 気候変動における 気候と環境のリスクを 評価し、対応策を推進す る ※⑥ 気候変動における 気候と環境のリスクを 評価し、対応策を推進す る ※⑦ 気候変動における 気候と環境のリスクを 評価し、対応策を推進す る ※⑧ ネスレの食品/パ ッケージの機械化/オート マティクスを推進する ※⑨ 食品ロスと廃棄物 を削減する ※⑩ 廃棄物を正しく 処理し、再利用する ※⑪ 資源を保全する



重要課題分析



サプライチェーン管理

ネスレの責任ある調達基準

コミュニティのために

困難に負けない活力ある
コミュニティを育成します



5	1	ネスレの調達	12	2.4.3	プラスチック容器の管理責任	4.2.8.1.1	耕作
	1.1	調達		2.4.4	危険物	4.2.8.1.2	輪作および間作（混作）
	1.1.1	所有者の義務		2.4.5	業務委託（外注）	4.2.8.1.3	土壌の健全性
	1.1.2	ビジネスの優先すべき義務		2.5	企業行動	4.2.8.1.4	GMO – IP（同一性保持）
	1.1.3	透明性の義務		2.5.1	倫理	4.2.8.2	農薬
	1.2	直接調達 – ネスレでは「ファーマーコネクト」と定義		2.5.2	内部通報制度	4.2.8.3	農地転換
	1.2.1	理解の義務		2.5.3	利益相反	4.2.9	エネルギー管理
	1.2.2	信頼性の義務		2.5.4	接待	4.2.9.1	農場発電
				2.5.5	エンドユーザーおよび知識共有	4.2.9.2	パイオマス栽培
				2.5.6	透明性	4.2.10	動物由来の製造
6	2	ネスレの一次サプライヤー	13	3	上流の仲介業者	4.2.10.1	経験、スキルおよびトレーニング
	2.1	コンプライアンス		3.1	透明性の義務	4.2.10.2	獣医用医薬品
	2.2	労働と普遍的人権		3.2	人材派遣仲介業者の注意義務	4.2.10.3	家畜飼育および育種
	2.2.1	責任ある採用		3.3	輸送に関する注意義務	4.2.10.4	動物福祉
7	2.2.2	責任ある雇用		3.3.1	人材	4.2.10.4.1	飢餓、渇き、栄養不足からの解放
8	2.2.3	強制労働、奴隷労働、囚人労働からの解放	14	3.3.2	環境	4.2.10.4.2	恐怖と苦痛からの解放
	2.2.4	組合、団体交渉の自由		3.3.3	動物	4.2.10.4.3	身体的・熱的不快からの解放
9	2.2.5	最低就労年齢	15	4	原産地	4.2.10.4.4	痛み、外傷、疾病からの解放
	2.2.6	平等な報酬		4.1	基盤	4.2.10.4.5	家畜の正常な行動パターンを表現する自由
	2.2.7	労働時間および休日		4.2	農場の特性	4.2.11	海産物由来の製造および水産養殖
10	2.2.8	尊重		4.2.1	家族経営農場 – 親が経営する場合の例外	4.2.11.1	天然漁業
	2.3	安全と健康		4.2.2	農業従事者の食料安全保障と健康	4.2.11.2	水産養殖
	2.3.1	緊急時対応	16	4.2.3	ジェンダーおよび女性の権利向上原則の尊重		
	2.3.2	職場環境		4.2.4	収穫時期および繁忙期の作業 – 就労時間制限の免除		
11	2.3.3	住宅環境		4.2.5	土地の管理		
	2.4	環境と社会への配慮		4.2.6	環境保護		
	2.4.1	土地所有権		4.2.6.1	高い保護価値	23	5 報告
	2.4.2	環境保護		4.2.6.2	空気質	5.1	継続的な改善および成果の明示
				4.2.6.3	水源管理	5.2	違反報告
				4.2.6.3.1	農業用水管理		
				4.2.6.3.2	取水		
				4.2.6.3.3	灌漑		
				4.2.7	責任ある森林管理		
				4.2.8	生物多様性の管理		

農村開発と貧困緩和

コミュニティのために

困難に負けない活力ある
コミュニティを育成します



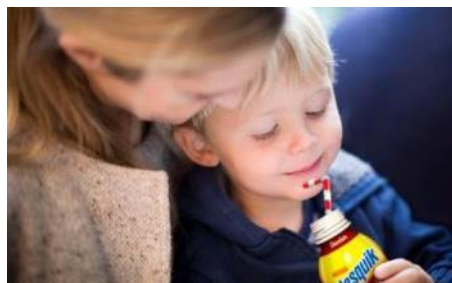
- ・ネスレのコーヒー生豆サプライチェーンを継続的に改善する(2億2000万本)
- ・カカオ農家とともに「ネスレ カカオプラン」を実施する(23万トン)

ネスレ カカオプラン



ネスカフェ プラン/
ネスプレッソAAAサステナブルクオリティプログラム





ご清聴ありがとうございました